

和6年度 重点目標・達成指標と重点的取組・取組指標と学校関係者評価(第1回) 実施日 1月 15日(水) 【九重町立東飯田小学校】

【教育目標】

確かな学力を備え、協働し自ら考え行動する児童の育成 ～学ぼう・伝えよう・繋がろう～
--

【育成を目指す資質・能力】

<input type="checkbox"/> 相手や目的に応じた表現力
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価者からの意見	
知識及び技能の習得 育成目標 ～をもとにした課題解決能力の育成	国語・算数の単元未テストの「知識・技能」の領域での標準期待値を超える児童の割合 国語 66.2% 1学期 69.9% 算数 69% 1学期 68.6%	○個に応じた少人数指導の実施 ○ドリルタイムの複数指導の実施	○全教職員での算数・国語の単元末に個に応じた少人数指導を実施する。 100% (1学期 75%) ○全教職員で週2回の朝ドリルの時間に、実態に応じ、ICTも活用した算数・国語の指導を実施する 90% (1学期 87.5%)	・単元末の少人数指導の時間を確保するために学習計画や支援体制を見直し、どの学年でも実施することができた。 ・支援体制表を作成し、eライブラリ等ICT機器を活用したドリルタイムを複数体制で実施することができ、個に応じた指導ができた。 ・国語については、「知識・技能」の領域で1学期よりも低い結果となった。基礎学力の確実な定着を図る必要がある。 ・九重町の学力調査の結果を分析し、きめ細やかな指導の改善に生かす。 ・学習した漢字や語句、表現方法を日常の作文活動等で意識して使うよう繰り返し指導する。 ・児童の実態に応じて支援体制を見直す。	
	○家族読書の推進 ○静かな家庭学習時間の設定 ○放課後チャレンジ教室での知識・技能習得		○学期に1回ノーメディアデーを設定し、配信メールで周知し、家族で読書を行う。 81.3% (1学期 90%) ○ノーメディア時間では、1日1時間以上メディアを消す。 85.9% (1学期 86.7%)	・だんだんとノーメディアへの意識が低くなってきたのか？それとも慣れてきたように感じます。読書が大事なことは分かりますが、それが課題解決能力の育成につながるのか？と思うところはあります。それぞれ自分の課題、苦手な部分は違うように思うので、読書だけにこだわらなくてもいいような気はします。 ・ノーメディアではなく、逆に自分の好きなメディア、好きなことをみんなに紹介するような宿題があつてもいいのでは？とも思います。現代の子どもたちにノーメディアはちょっと難しいのかもしれませんですね。 ・全体的に取り組めているのが良いと思う。我が家では若干依存気味で、もう手放せない状態になっており、もうお手上げ状態なので正直ちゃんと取り組めたことはありません。きちんと取り組めているご家庭がすごいです。 ・家族読書は各家庭で定着してきた取り組みだと思います。 ・1学期よりパーセントは下がったが、できていると思う。	
	○考え方を伝える場の保障 ○音読への意欲の向上 ○公民館活動での、児童の承認・認知の実施 ○礼儀正しい言葉遣いの指導をするとともに肯定的評価をする	○ペア学習やグループ学習の場を1日1回以上実施する。 100% (1学期 100%)	○ペア学習やグループ学習の場を1日1回以上実施する。 100% (1学期 100%)	・考え方を伝えあう場を全職員が意識して実施できた。 ・肯定的評価でみると1学期より改善している。 ・国語については、「知識・技能」の領域で1学期よりも低い結果となった。基礎学力の確実な定着を図る必要がある。 ・九重町の学力調査の結果を分析し、きめ細やかな指導の改善に生かす。 ・学習した漢字や語句、表現方法を日常の作文活動等で意識して使うよう繰り返し指導する。 ・児童の実態に応じて支援体制を見直す。	
思考力、判断力、表現力の育成 育成目標 ～伝えよう・肯定的評価は94%～	「ペア学習やグループ学習の中で、相手に伝わるように考えて、自分の考えを言うことができた」のアンケートで、児童の4評価60%以上 54% (3評価40%で、合わせて肯定的評価は94%)	○考え方を伝える場の保障 ○音読への意欲の向上 ○公民館活動での、児童の承認・認知の実施 ○礼儀正しい言葉遣いの指導をするとともに肯定的評価をする	○保護者は、週1回以上子どもの音読に向き合って聞く時間を持つ。 84.9% (1学期 83.3%)	・少し上がっているのでいいのではないかと思いますが、子どもたちが音読の大切さをどれくらい理解しているのか？音読だけにどらわれ過ぎではないでしょうか。 ・思ったのが、高学年になるにつれて聞く回数がめっきり減ったような気がします(我が家限定)全体的によくできていると思います。 ・文章を読む力がつくので、音読の取り組みは続けたほうが良い。 ・多くの人ができていると思う。取り組みを続けることと保護者の意識が大切と思う。	
	○児童を主体とした授業改善 ○高学年で自主学習に取り組む		○学期に1回以上協調学習に取り組む 88.9% (1学期 62.5%) 月に1回自主学習を取り入れる 100% (1学期 25%)	・声掛けで子どもたちはやる気を見せます。意欲的になってくると工夫を凝らし、立派な作品ができます。その時の表情がとてもいいです。授業に対しても(ここ)というポイントを見つけたらきっと学力が向上していくのです…。ゲーム漬けになっている子どもたちが夢フィールドの活動に触れてほしいです。制作や体験は大きな力を生み出します。 ・活動スタッフには児童への認知・賞賛の声掛けを行ってもらっている。児童の自己表現(できたものを「見て」、分からぬときに質問したり、家や学校での出来事を話してくれたり)が多くなってきたように感じる。 ・関係者とのつながり、仲間同士として付き合える。 ・何事にも積極的に取り組めるようにいろんな方面から見守っています。(多人数のスタッフで)ただ、最近ちょっと気になっていることは、説明をしているのに横を向いての雑談が多くなっているので今後の課題として考えていきたいと思っています。	
	○家庭での学習習慣を定着させる ○公民館活動で児童の主体的な活動の場を作る	○家庭学習の時間を決めて取り組ませる 60.9% (1学期 76.6%)	○家庭学習について ○全学年で取り組むことができる。 ○子どもたちが楽しんで取り組んでいる。 ○ノートを掲示することで意欲が高まっている。 ○子どもと一緒に、ねらいをもう一度確認する。 ○児童アンケートの中に自主学習についての項目を入れ、学期末に振り返りを行う。	・習い事等で忙しい子どもたちは、時間を決めてするのは難しいかもしれないですね。時間よりも中身が大切なと思います。 ・習い事とか家庭の事情などで意欲的に学習に取り組める時間の確保が難しいだろうなと思いました。宿題をするので精一杯で宿題をとりあえずやっておこうという感じでは？ ・「家庭学習イコール宿題」という家庭が多いと思う。学習の時間を決めて取り組ませるというのは難しいように思う。子ども自身が時間を設定し、自ら取り組めるような宿題がついてもいいかも？(自学とか) ・パーセントは低いが各家庭で学習できる時間にさせているのではないかでしょうか。	
学びに向かう力、人間性等の涵養 育成目標 ～肯定的評価は84%～	○業務改善の推進	○毎月1回、運営委員会の中で労働安全衛生委員会を催し、超勤時間を把握する。毎月 38.9% (9月～11月)	○毎月1回、運営委員会の中で労働安全衛生委員会を催し、超勤時間を把握する。毎月 38.9% (9月～11月)	・年休が取れていない職員が固定化しているので、面談などを通してストレス過多とならないよう見守る。 ・3学期は成績処理や授業進度を意識することで、休みがとりにくい感じことが多い。計画的に進めることを意識する。	
	○月末に翌月の年休予定を立てる 毎月				